

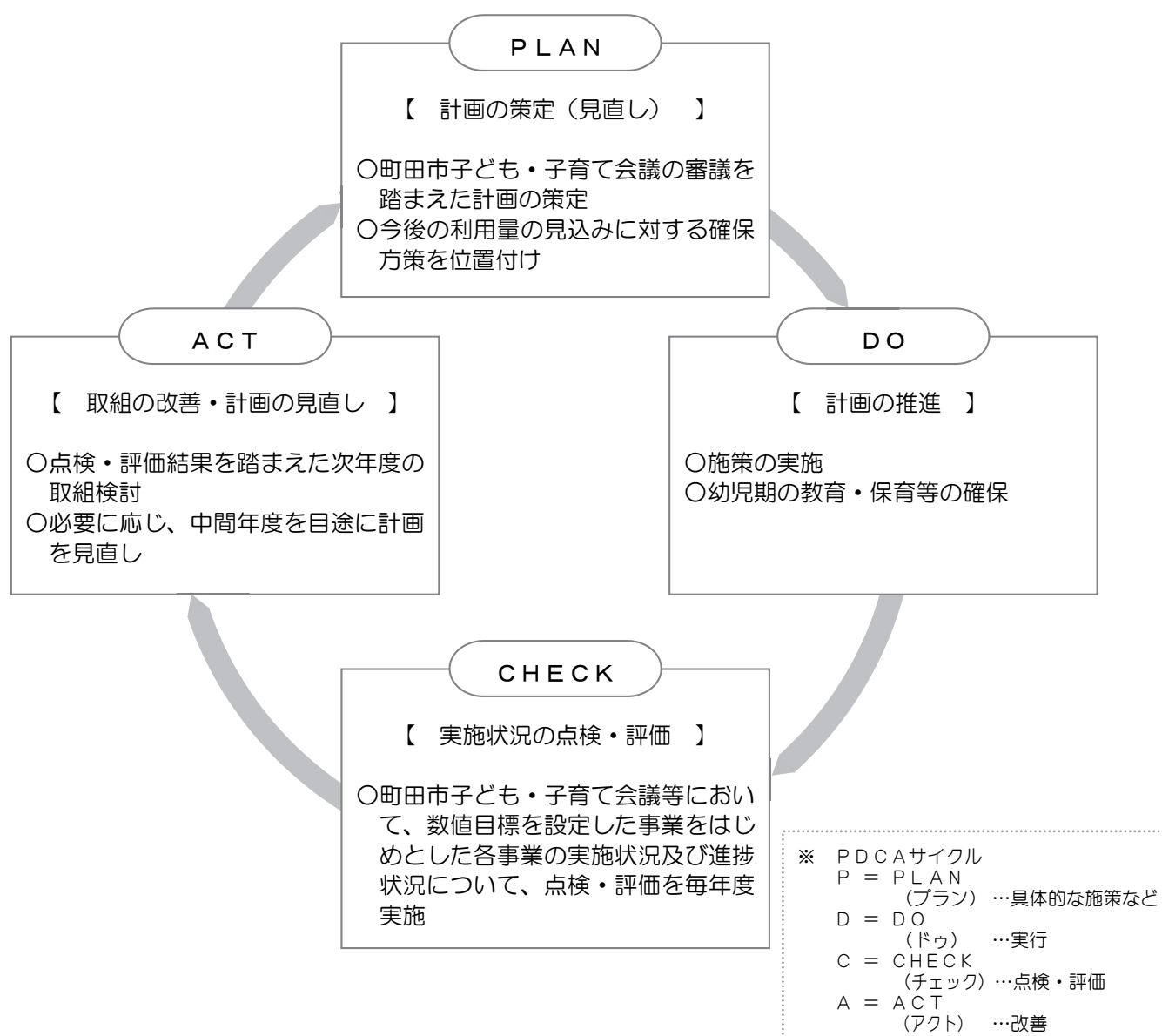
第5章 計画の推進

1 計画の進行管理

本計画に基づく取り組みの実施に当たっては、年度ごとに点検・評価を行い、その結果を踏まえたうえで取り組みの充実・見直しを検討する等、PDCA サイクルを確保し本計画を計画的かつ円滑に推進することが重要です。

計画の適切な進行管理を進めるために、庁内関係各課を中心に具体的施策の進行状況について把握するとともに、「町田市子ども・子育て会議」において、施策の実施状況について点検、評価し、これに基づいて対策を実施するものとします。

また、その取り組みについて、ホームページ等を通じて公開することにより、市民や関係機関等への周知に努めます。



2 関係機関との連携

計画に掲げる取組については、市が単独で実施できるもののほかに、制度や法律に基づく事業もあるため、国や都、近隣市との連携を深め、必要に応じて協力要請を行った上で、計画を推進します。

また、行政の取り組みだけではなく、家庭や地域をはじめ、子育てサークル、ボランティア、さらにNPO等の関係機関の協力が不可欠です。そのため、これらの個人・関係機関等の活動と連携しながら、引き続き地域の子育て支援を推進していきます。



第1章 計画の概要

第2章

町田市の子どもの
取り巻く状況

第3章

計画の基本的な
考え方

第4章

施策の展開
(前期行動計画)

第5章

計画の推進

参考資料

会長あいさつ

子どもマスタープランが出来上がりました。世の中が複雑化する中で、子どもたちの権利は私たち大人が守ってあげなくてはなりません。そうすることによって今の子どもたちが、次の世代を育てていくのです。

子ども・子育て会議では、このマスタープランの策定にあたり町田市の子育ての現状や課題、目指す方向や取組等について十分に検討しました。理想論ではなく、子育ての現場の事実を積み重ね策定されたものです。そして、そこに実践が伴って実を結ぶものです。

子育てに関わる保護者、保育者だけでなく、多くの人たちが積極的に子育てに参加し、子どもの未来を是非とも一緒に創りあげていってください。子どもたちの未来は、現在の延長線上にあります。子どもたちにとって毎日毎日が楽しく安全で、そして幸せな日々であることが、将来の子どもたちの幸せが描けることになるのです。

環境はそこで生きていく生物に作用していくと言われていますが、私たちの環境も大きく変化しようとしています。しかし、子どもたちの心は、今も昔も変わることなく無邪気に自由にのびのびと遊びたい気持ちでいっぱいです。環境を変えていくのは大人の私たちです。子どもの気持ちを大切にしながら子どもに寄り添って、共に生きていく世の中を考えた時、このマスタープランが評価される時と考えています。マスタープランは子育ての一つの指針を提示しています。時々頁を括りながら同時に町田の日本の子育てを見つめる機会にもしてください。

2016年2月

町田市子ども・子育て会議会長
東京家政学院大学現代生活学部教授
金子 和正

